

質問項目一覧

- 今回と同じ形式の質問項目
△ 今回と違う形式で質問していた項目

第Ⅰ章 生活設計と生活保障意識

質問番号	質問項目	調査年次									
		1996 平成 8年	1998 平成 10年	2001 平成 13年	2004 平成 16年	2007 平成 19年	2010 平成 22年	2013 平成 25年	2016 平成 28年	2019 令和 元年	2022 令和 4年
Q4	生活設計の有無	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q4S Q1	生活設計の期間	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q4S Q2	生活設計を立てない理由			○	○	○	○	○	○	○	○
Q5	想定される将来のライフイベント								○	○	○
Q5S Q1	最も重要なライフイベント								○	○	○
Q5S Q2	最も重要なライフイベントに対する経済的準備状況								○	○	○
Q6	生活上の不安項目								○	○	○
Q6S Q1	最も不安な生活上の不安項目								○	○	○
Q6S Q2	最も不安な生活上の不安項目の経済的準備状況								○	○	○
Q7(1)	私的な生活保障の準備に対する考え方	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q7(2)	計画に対する実行性								○	○	○
Q7(3)	リスクとリターンに対する考え方								○	○	○
Q52(1)	金融に関する知識の自己評価								○	○	○
Q52(2)	保険に関する知識の自己評価								○	○	○
F11	生命保険や金融に関する知識量								○	○	○
Q2	失業・休業・廃業経験の有無										○
Q3	健康状態・運動習慣・食習慣										○

第Ⅱ章 医療保障

質問番号	質問項目	調査年次									
		1996 平成 8年	1998 平成 10年	2001 平成 13年	2004 平成 16年	2007 平成 19年	2010 平成 22年	2013 平成 25年	2016 平成 28年	2019 令和 元年	2022 令和 4年
Q8	ケガや病気に対する不安の有無		○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q8S Q	ケガや病気に対する不安の内容		△	△	○	○	○	○	○	○	○
Q10	過去5年間の入院経験の有無	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○
Q10S Q1	直近の入院の時期				○	○	○	○	○	○	○
Q10S Q2	直近の入院時の入院日数	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○
Q10S Q5	直近の入院時の高額療養費制度の利用経験						○	○	○	○	○
Q10S Q3(1)	直近の入院時の自己負担費用	△	△	△	△	△	△	○	○	○	○
Q10S Q3(2)	直近の入院時の逸失収入							○	○	○	○
Q10S Q4	直近の入院時の自己負担費用や逸失収入の充当手段							○	○	○	○
Q1(1)	公的医療保険に対する考え方	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q9	医療保障は公的保障充実志向か自助努力志向か		○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q11	医療保障に対する私的準備状況	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q14	疾病入院給付金日額の必要額					△	△	△	○	○	○
Q14	疾病入院給付金一時金額の必要額										○
Q11S Q	医療保障に対する充足感	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q12	医療保障に対する今後の準備意向	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q13	入院費用をまかなう手段		○	○	○	○	○	○	○	○	○

第三章 老後保障

質問番号	質問項目	調査年次									
		1996 平成 8年	1998 平成 10年	2001 平成 13年	2004 平成 16年	2007 平成 19年	2010 平成 22年	2013 平成 25年	2016 平成 28年	2019 令和 元年	2022 令和 4年
Q15	老後生活に対する不安の有無		○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q15SQ	老後生活に対する不安の内容		△	△	○	○	○	○	○	○	○
Q21	老後の生活水準	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q19	老後の最低日常生活費	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q19SQ1	老後のゆとりのための上乗せ額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q19SQ2	老後のゆとりのための上乗せ額の使途	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q1(2)	公的年金に対する考え方	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q16	老後保障は公的保障充実志向か自助努力志向か		○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q17	老後保障に対する私的準備状況	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q20	老後資金の使用開始年齢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q17SQ	老後保障に対する充足感	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q18	老後保障に対する今後の準備意向	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q22	老後の生活資金をまかなう手段	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○

第四章 死亡保障

質問番号	質問項目	調査年次									
		1996 平成 8年	1998 平成 10年	2001 平成 13年	2004 平成 16年	2007 平成 19年	2010 平成 22年	2013 平成 25年	2016 平成 28年	2019 令和 元年	2022 令和 4年
Q30	死亡時の遺族の生活に対する不安の有無		○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q30SQ	死亡時の遺族の生活に対する不安の内容				○	○	○	○	○	○	○
Q1(4)	公的死亡保障に対する考え方	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q31	死亡保障は公的保障充実志向か自助努力志向か					○	○	○	○	○	○
Q32	死亡保障に対する私的準備状況	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q35	死亡保険金の必要額					△	△	△	○	○	○
Q32SQ	死亡保障に対する充足感	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q33	死亡保障に対する今後の準備意向	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q34	遺族の生活資金をまかなう手段				○	○	○	○	○	○	○

第五章 介護保障

質問番号	質問項目	調査年次									
		1996 平成 8年	1998 平成 10年	2001 平成 13年	2004 平成 16年	2007 平成 19年	2010 平成 22年	2013 平成 25年	2016 平成 28年	2019 令和 元年	2022 令和 4年
Q23	自分の介護に対する不安の有無		○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q23SQ	自分の介護に対する不安の内容		△	○	○	○	○	○	○	○	○
Q24	親などを介護する場合の不安の有無			○	○	○	○	○	○	○	○
Q24SQ	親などを介護する場合の不安の内容			○	○	○	○	○	○	○	○
Q26	自分が介護してもらいたい場所	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q1(3)	公的介護保険に対する考え方		○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q25	介護保障は公的保障充実志向か自助努力志向か		○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q27	介護保障に対する私的準備状況	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q27SQ	介護保障に対する充足感	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q28	介護保障に対する今後の準備意向	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q29	介護の資金をまかなう手段		○	○	○	○	○	○	○	○	○

第Ⅶ章 直近加入契約の状況と今後の加入意向

質問番号	質問項目	調査年次									
		1996 平成 8年	1998 平成 10年	2001 平成 13年	2004 平成 16年	2007 平成 19年	2010 平成 22年	2013 平成 25年	2016 平成 28年	2019 令和 元年	2022 令和 4年
Q47	直近加入契約の加入のきっかけ							○	○	○	○
Q46	直近加入契約の加入目的					○	○	○	○	○	○
Q48	直近加入契約の加入チャネル					△	△	○	○	○	○
Q50	直近加入契約の加入時の情報入手経路						△	○	○	○	○
Q50 S Q	直近加入契約の加入時に最も参考になった情報入手経路						△	○	○	○	○
Q49	直近加入契約の加入時の商品比較経験							○	○	○	○
Q38	加入方法に対する意向										○
Q39	加入意向のあるチャネル					△	△	○	○	○	○
Q39 S Q1	最も加入意向のあるチャネル					△	△	○	○	○	○
Q39 S Q2	加入チャネルに対する意向						△	△	○	○	○
Q41	生命保険会社等に対する意向						○	○	○	○	○
Q40	生命保険商品に対する意向						○	○	○	○	○
Q42	生命保険加入時の募集資料で最も重視する情報						○	○	○	○	○
Q51	生命保険の非加入理由						○	○	○	○	○

補章

質問番号	質問項目	調査年次									
		1996 平成 8年	1998 平成 10年	2001 平成 13年	2004 平成 16年	2007 平成 19年	2010 平成 22年	2013 平成 25年	2016 平成 28年	2019 令和 元年	2022 令和 4年
Q43	民保とかんぽ生命に対する加入意向							○	○	○	○
Q43 S Q	民保とかんぽ生命に対する選好理由							○	○	○	○
Q44	民保とかんぽ生命に対するイメージ							○	○	○	○
Q36	生命保険料控除制度が拡充された場合の考え方					△	△	△	○	○	○
Q37	生命保険料控除制度が縮小された場合の考え方					△	△	△	○	○	○

留置表による加入実態

質問番号	質問項目	調査年次									
		1996 平成 8年	1998 平成 10年	2001 平成 13年	2004 平成 16年	2007 平成 19年	2010 平成 22年	2013 平成 25年	2016 平成 28年	2019 令和 元年	2022 令和 4年
問1	加入種類（生命保険か個人年金保険か）	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○
問1-付問1	加入機関	△	△	△	△	△	○	○	○	○	○
問1-付問2a	普通死亡保険金額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
問1-付問2b	個人年金保険の年金年額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
問1-付問3b	個人年金保険の年金受取期間	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
問2	特定の保障機能を持つ保険の加入の有無			△	△	△	△	△	△	△	○
問3	年間払込保険料	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
問4	疾病入院給付金日額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
問4	疾病入院給付金一時金額										○
問5	加入時期					△	○	○	○	○	○

属性

質問番号	質問項目	調査年次									
		1996 平成 8年	1998 平成 10年	2001 平成 13年	2004 平成 16年	2007 平成 19年	2010 平成 22年	2013 平成 25年	2016 平成 28年	2019 令和 元年	2022 令和 4年
F1	性別	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
F2	年齢	△	△	△	△	△	△	△	○	○	○
F3	本人職業	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○
F3SQ1	従業員規模	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
F4	最終学歴								○	○	○
F5	本人年収	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○
F5SQ1,2	年収額の比較感										○
F6	未既婚	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
F6SQ1	子供の人数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
F6SQ2	子供のライフステージ	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○
F7	同居家族	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
F8	世帯年収	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
F9	住居種類	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
F10	金融資産	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○